

## 1. はじめに

その悪夢は、8月28日、自宅に掛かってきた1本の電話から始まった。「3階病棟で熱発者が多発しています。コロナ抗原検査で9名の患者さんが陽性となり、職員も4名休んでいます!」。電話を聞いた私の最初の感想は、「まさか当院で!今まで職員が感染しても水際で留めて、院内侵入は防いだのに何故??信じられない」と言うものであった。しかし現実は一層厳しく、感染者はどんどん増え、終息までに29日もの期間を要した。

本冊子は発生から終息までの生々しい記録と、その後の反省と研修会、ならびに全職員に行ったアンケート結果等をまとめたものである。今後同じような事を繰り返さない為に、全職員が読んで情報を共有してくれることを切望する。

院内感染防止対策委員会 委員長